

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2017年第3週  
(1月16日～1月22日)

- \* 2017年1月25日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」も掲載しています。

平成29(2017)年1月26日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2017年3週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	55	35	63	52	150	305	927
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9) <sup>*3</sup>								
三類	コレラ							
	細菌性赤痢		2	1		3	6	12
	腸管出血性大腸菌感染症	2		2	3	5	19	37
	腸チフス	1						
	パラチフス							
四類	E型肝炎	1	2			2	1	13
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1			3	3	4	6
	エキノコックス症						1	1
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	ジカウイルス感染症 <sup>*4</sup>						1	1
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*5</sup>							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱						1	1
つつが虫病			1		1	9	21	
デング熱		1	2	2	5	9	17	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

\*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

\*4 2016年2月15日より新たに追加指定された。

\*5 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							1
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア				1	1	1	2
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	2	3	3	3	9	17	59
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								
2017/1/25集計								

( 全数把握対象疾患のコメント・一類～四類 )

〈二類感染症〉

**結核 52件** 患者および死亡後診断 33件(肺結核 21件、その他の結核 10件、肺結核及びその他の結核 2件)、無症状病原体保有者 18件、疑似症 1件、年齢は20代 7件、30代 4件、40代 5件、50代 7件、60代 8件、70代 10件、80代 7件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 52件であった。

〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 3件** 患者 2件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO91 VT1 1件、O157 VT型不明 1件、O165 VT型不明 1件、年齢は10歳未満 1件、20代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 2件であった。

〈四類感染症〉

**A型肝炎 3件** 患者 3件、年齢は20代 1件、40代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、台湾 1件、推定感染経路は経口感染 2件、不明 1件であった。

**デング熱 2件** 患者 2件、病型はデング熱 2件、血清型は3型 1件、不明 1件、年齢は50代 2件、推定感染地はフィリピン 1件、マレーシア 1件であった。

**マラリア 1件** 患者、病型は不明、年齢は30代、推定感染地はインドネシアであった。

**レジオネラ症 3件** 病型は肺炎型 2件、無症状病原体保有者 1件、年齢は80代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は水系感染 2件(温泉 1件、自宅循環風呂 1件)、不明 1件であった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2017年3週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
五 類 ( 全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	2		4	8	12	15	54
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	1		1	1	2	4	12
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	4	3	3	10	28	66
	急性脳炎 *1			3	2	5	9	34
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病						4	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	3	1	1	5	8	26
	後天性免疫不全症候群	5	7	10	8	25	15	53
	ジアルジア症	1			1	1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			3	2	5	7	31
	侵襲性髄膜炎菌感染症							
	侵襲性肺炎球菌感染症	10	8	9	10	27	58	223
	水痘(入院例に限る)	2	2			2	4	12
	先天性風しん症候群							
	梅毒	18	15	24	22	61	63	181
	播種性クリプトコックス症	2	2		1	3	3	7
	破傷風						1	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			1	2	5
	風しん						2	4
麻しん				2	2	5	8	
薬剤耐性アシネトバクター感染症						1	1	

2017/1/25集計

\*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

### （全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 8件** 病型は腸管 5件、腸管及び腸管外 3件、年齢は40代 3件、50代 2件、60代 3件、推定感染地は国内 7件、タイ 1件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 2件、異性間 2件、性別不明 1件)、不明 3件であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は無しであった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3件** 患者 3件、病原菌はエンテロバクター・クロアカ 1件、クレブシエラ・オキシトカ 1件、クレブシエラ・ニューモニエ 1件、年齢は5歳未満 1件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は医療器具関連感染(中心静脈カテーテル) 1件、以前からの保菌 1件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴は無し3件であった。

**急性脳炎 2件** 病原体はインフルエンザウイルス 2件(A型 1件、B型 1件)、年齢は5歳未満 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** 血清型はA群、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

**後天性免疫不全症候群 8件** AIDS 3件、無症候キャリア 5件、AIDS患者の年齢は40代 2件、50代 1件、無症候キャリアの年齢は20代 2件、30代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 7件、タイ 1件、推定感染経路は同性間性的接触 6件、同性間性的接触又は輸血 1件、不明 1件であった。

**ジアルジア症 1件** 年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件** 血清型は検査未実施 2件、年齢は40代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件、ヒブワクチン接種歴は無し 1件、不明 1件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 10件** 血清型は検査未実施 10件、年齢は60代 4件、70代 4件、80代 2件、推定感染地は国内 10件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 7件、肺炎球菌ワクチン接種歴は23価2回接種済み 1件、価数不明1回接種済み 1件、無し 7件、不明 1件であった。60代のうち1件は死亡が確認された。

**梅毒 22件** 患者 15件(早期顕症梅毒Ⅰ期 9件、早期顕症梅毒Ⅱ期 6件)、無症候梅毒 7件、年齢は20代 4件、30代 7件、40代 3件、50代 5件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 22件、推定感染経路は性的接触 18件(同性間 3件、異性間 12件、性別不明 3件)、不明 4件であった。

**播種性クリプトコックス症 1件** 患者、年齢は90歳以上、推定感染地は国内、推定感染原因は免疫不全(ステロイド内服)であった。

**麻しん 2件** 検査診断例 1件、修飾麻しん 1件、遺伝子型はD8 1件、H1 1件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 1件、ミャンマー 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、接触感染 1件、麻しん含有ワクチン接種歴は1回接種 1件、不明 1件であった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2017年3週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2016年	2017年			報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		52週	1週	2週	3週		
小児科	RSウイルス感染症	27 0.11	19 0.07	23 0.09	38 0.15	261	264
	咽頭結膜熱	76 0.31	57 0.22	66 0.25	57 0.22		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	318 1.28	231 0.90	348 1.32	517 1.98		
	感染性胃腸炎	2,505 10.06	1,083 4.20	1,667 6.34	1,781 6.82		
	水痘	114 0.46	117 0.45	98 0.37	70 0.27		
	手足口病	37 0.15	23 0.09	22 0.08	18 0.07		
	伝染性紅斑	20 0.08	34 0.13	41 0.16	37 0.14		
	突発性発しん	56 0.22	45 0.17	125 0.48	107 0.41		
	百日咳	4 0.02	1 0.00		2 0.01		
	ヘルパンギーナ	6 0.02	2 0.01	1 0.00	1 0.00		
	流行性耳下腺炎	80 0.32	73 0.28	121 0.46	66 0.25		
	川崎病 *1	5 0.02	3 0.01	3 0.01	4 0.02		
	不明発しん症 *1	7 0.03	5 0.02	21 0.08	14 0.05		
	インフル エンザ	インフルエンザ *2	3,588 9.06	3,770 9.22	6,295 15.17		
眼科	急性出血性結膜炎					39	39
	流行性角結膜炎	12 0.33	15 0.39	14 0.36	19 0.49		
基幹	細菌性髄膜炎 *3					25	25
	無菌性髄膜炎		1 0.04				
	マイコプラズマ肺炎	6 0.24	13 0.52	6 0.24	10 0.40		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	1 0.04		3 0.12			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4	2 0.08		1 0.04	2 0.08		
	インフルエンザ入院	39 1.56	61 2.44	56 2.24	70 2.80		

2017/1/25集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は増加し、流行警報基準を超えた。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2017年3週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	3	2		8	2	1					
6～11か月	10	4	3	79	6	4	2	30			
1歳	19	14	13	184	7	8		63	1	1	
2歳	2	15	24	138	7	2	4	10			3
3歳	2	5	51	129	11	2	3	2			5
4歳		4	64	161	2		5				6
5歳	1	2	72	110	11		5	1			9
6歳		3	72	121	11		8				4
7歳		1	46	100	5		1	1			6
8歳		2	40	105	3	1	1				12
9歳		2	33	77			1				9
10～14歳	1		66	235	4		6				10
15～19歳		2	6	80	1						1
20～29歳		1	27	254			1		1		1
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	38	57	517	1,781	70	18	37	107	2	1	66
先週比	15	-9	169	114	-28	-4	-4	-18	2		-55

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		2	28								2
6～11か月		1	71		1						1
1歳	3	4	393		3			1		1	5
2歳		3	409								
3歳			495		1			2			1
4歳	1		694								1
5歳		1	635					1			
6歳			712					1		1	1
7歳			715					1			2
8歳		1	636								1
9歳		1	588								
10～14歳			2,191		1			2			1
15～19歳			946		2			1			
20～29歳		1	606								1
30～39歳			763		6						
40～49歳			866		3			1			2
50～59歳			526								3
60～69歳			301		2						9
70～79歳			163								13
80歳以上			123								27
合計	4	14	11,861		19			10		2	70
先週比	1	-7	5,566		5			4	-3	1	14

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2017年3週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			0.67	4.33						0.33	0.33
中央区		0.33	1.00	15.00	1.33	0.67		1.00			
みなと	0.33	0.67	1.67	6.50	0.17			0.17	0.17		0.17
新宿区	0.38	0.50	2.38	7.00	0.13	0.13		0.25			0.13
文京		0.25	2.25	6.25	0.50			0.25			
台東		0.25	2.00	9.50		0.25		2.00			0.25
墨田区			0.80	4.80		0.20		0.40			
江東区			0.78	11.00	0.44			0.22			
品川区	0.38	0.13	1.38	6.50	0.13	0.50	0.25	0.63			0.25
目黒区		0.20	2.60	9.60	0.60		1.40	0.40			0.40
大田区	0.42	0.58	2.67	7.92	0.17	0.08		0.33			0.17
世田谷	0.06	0.38	2.06	5.00	0.19	0.13	0.50	0.38			0.19
渋谷区			0.75	3.75	0.75						
中野区	0.33		1.00	11.50				0.67			0.17
杉並			0.90	4.00	0.10			0.40			0.10
池袋		0.50	1.25	3.50							
北区	0.14		1.29	3.14	0.29			0.71			0.14
荒川区	1.25	0.25	1.75	5.00	0.25			1.25			0.50
板橋区	0.10		0.70	5.30	0.20			0.20			0.20
練馬区		0.08	3.38	5.08	0.85	0.08		0.15			0.31
足立		0.23	2.38	5.69	0.15		0.31	0.69			0.08
葛飾区	0.13		1.63	5.13	0.38		0.25	0.38			
江戸川	0.25	0.17	3.25	7.08		0.25	0.33	0.17			0.08
八王子市	0.36	0.09	2.64	12.82	0.36	0.09		0.55			0.45
町田市		0.25	1.88	8.63	0.38	0.13		0.38			1.25
西多摩		0.13	0.88	7.00	0.75			0.38			
南多摩		0.33	2.22	7.89	0.44			0.33			0.33
多摩立川	0.14	0.14	2.43	5.71	0.07			0.14			0.64
多摩府中	0.05		1.38	6.52	0.14		0.48	0.24	0.05		0.38
多摩小平	0.27	0.87	3.93	7.60	0.20			0.87			0.27
島しょ											1.00
東京都	0.15	0.22	1.98	6.82	0.27	0.07	0.14	0.41	0.01	0.00	0.25

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			16.00								3.50
中央区	0.33	0.67	29.80		1.00						
みなと			32.11								3.00
新宿区			17.67		1.00						0.50
文京			34.86								1.00
台東			23.71								
墨田区		0.20	27.75					3.00			1.00
江東区			26.64								
品川区			14.33								
目黒区			19.50								
大田区		0.17	25.11		2.50						
世田谷			26.72					1.00			3.00
渋谷区			16.00		1.00						4.00
中野区			34.30								
杉並			26.44		2.00						1.00
池袋			26.86					2.00			
北区			24.27								
荒川区			44.43		1.00						
板橋区		0.20	21.94		0.50					1.00	2.00
練馬区		0.15	28.05		1.00						
足立		0.08	28.35		0.50						
葛飾区	0.13		35.08					1.00			9.00
江戸川			26.58		0.50						
八王子市		0.18	35.28								10.00
町田市			36.31								
西多摩	0.13		29.86					1.00			
南多摩			31.64								
多摩立川			27.38		0.50						1.00
多摩府中	0.05	0.10	32.52					0.33		0.33	3.67
多摩小平			36.91		0.50						5.50
島しょ			46.00								1.00
東京都	0.02	0.05	28.58		0.49			0.40		0.08	2.80



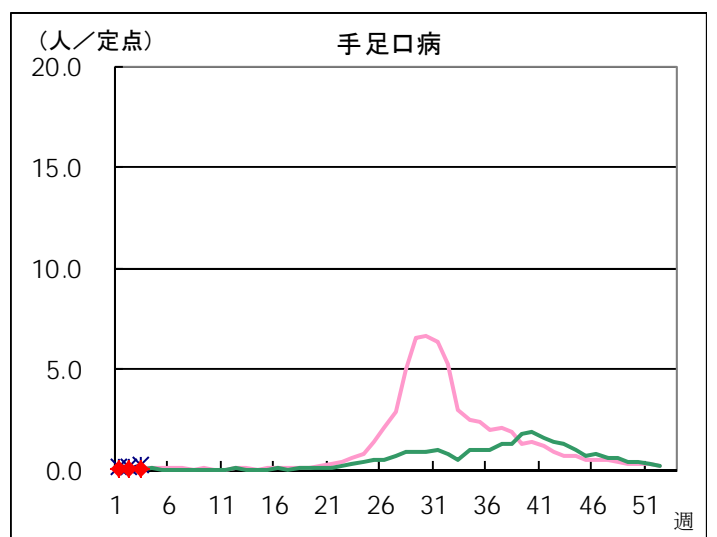
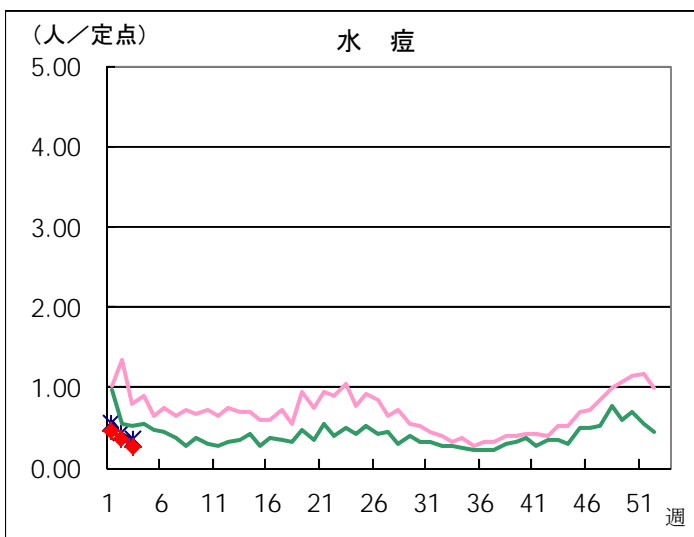
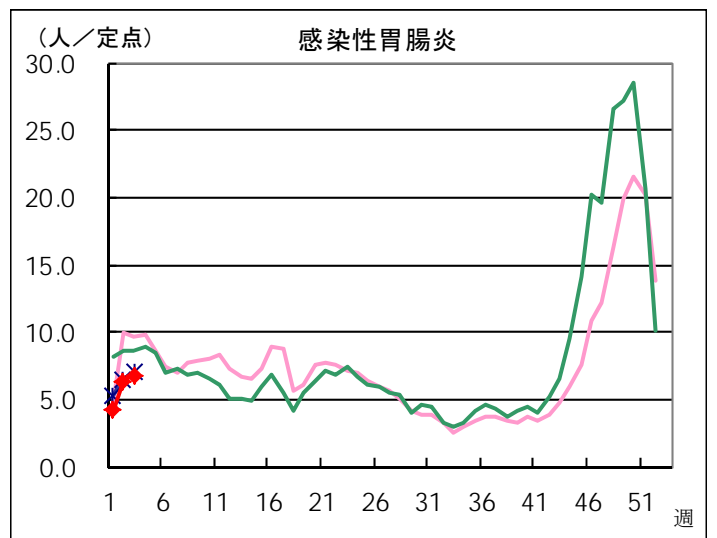
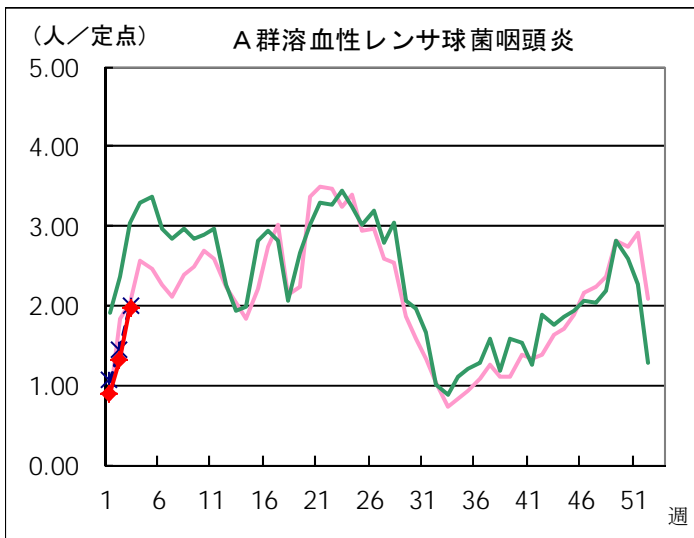
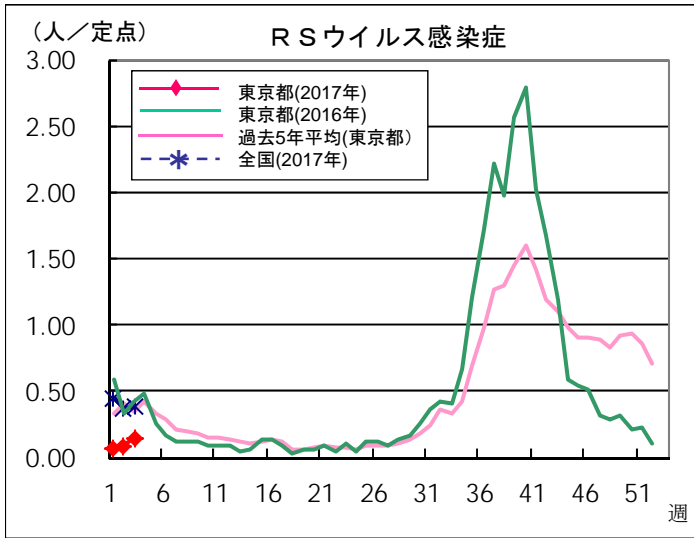
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2017年3週

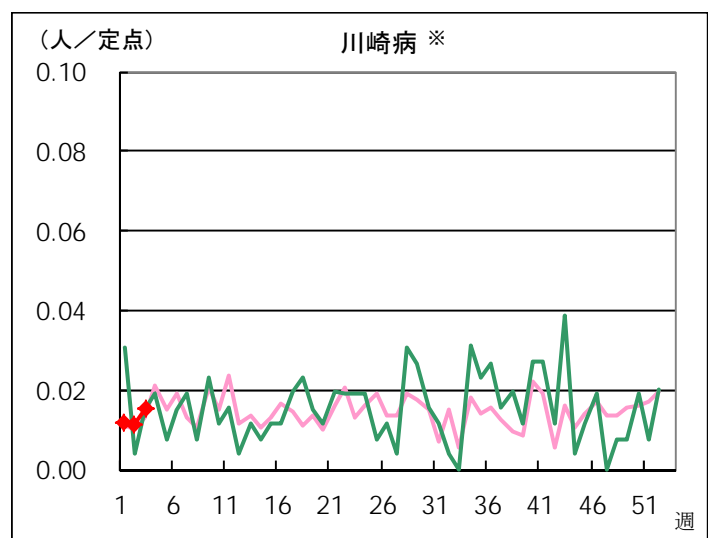
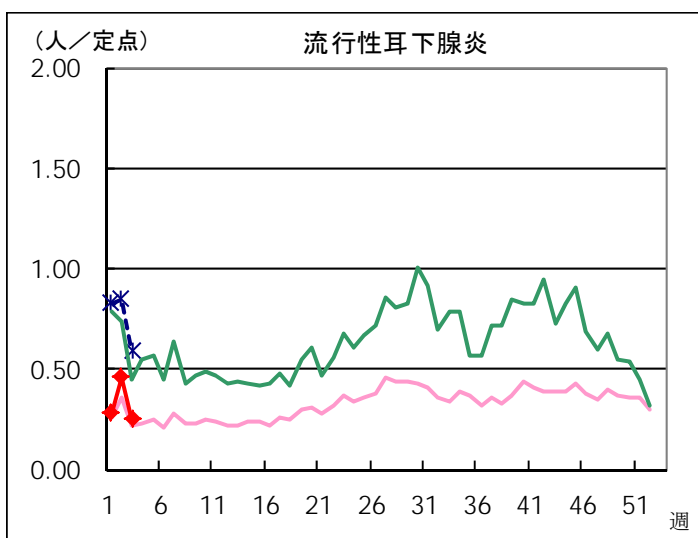
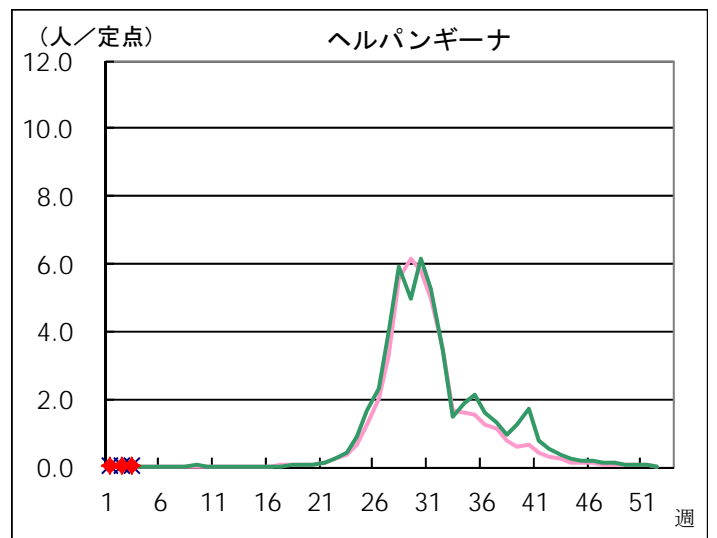
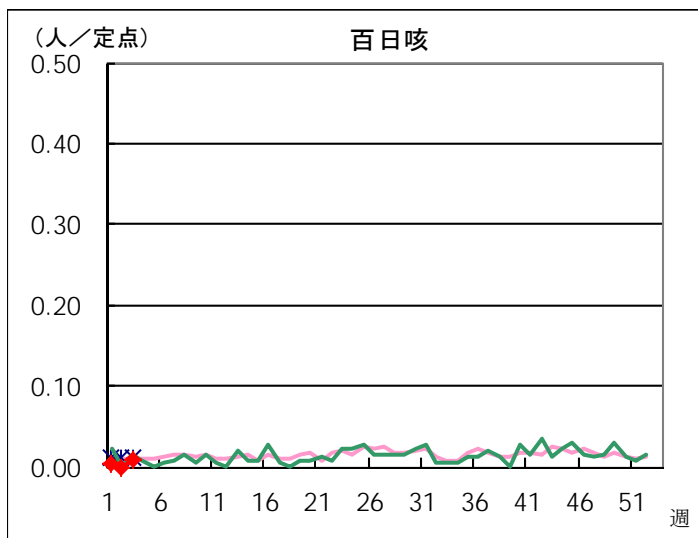
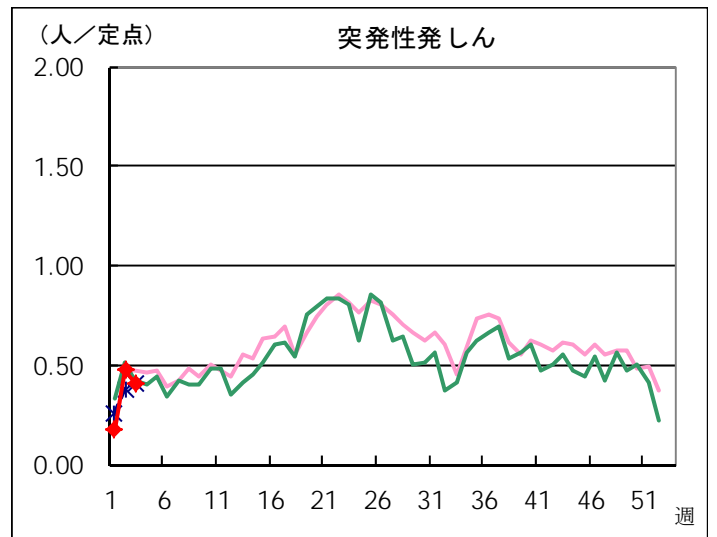
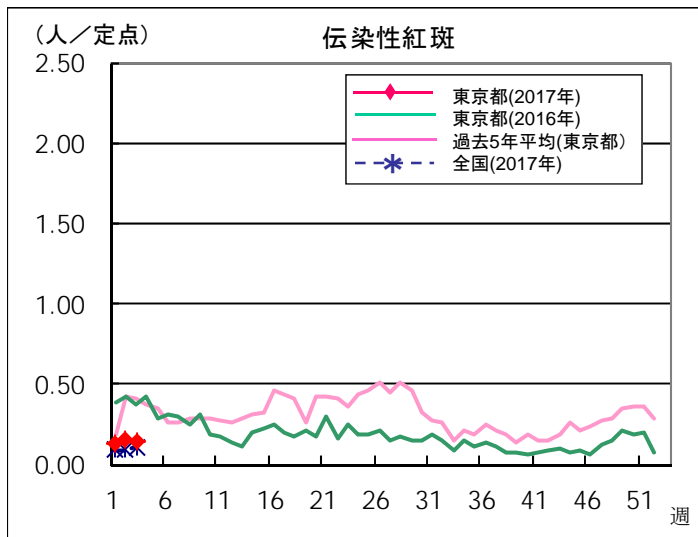
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			2	13						1	1
中央区		1	3	45	4	2		3			
みなと	2	4	10	39	1			1	1		1
新宿区	3	4	19	56	1	1		2			1
文京		1	9	25	2			1			
台東		1	8	38		1		8			1
墨田区			4	24		1		2			
江東区			7	99	4			2			
品川区	3	1	11	52	1	4	2	5			2
目黒区		1	13	48	3		7	2			2
大田区	5	7	32	95	2	1		4			2
世田谷	1	6	33	80	3	2	8	6			3
渋谷区			3	15	3						
中野区	2		6	69				4			1
杉並			9	40	1			4			1
池袋		2	5	14							
北区	1		9	22	2			5			1
荒川区	5	1	7	20	1			5			2
板橋区	1		7	53	2			2			2
練馬区		1	44	66	11	1		2			4
足立		3	31	74	2		4	9			1
葛飾区	1		13	41	3		2	3			
江戸川	3	2	39	85		3	4	2			1
八王子市	4	1	29	141	4	1		6			5
町田市		2	15	69	3	1		3			10
西多摩		1	7	56	6			3			
南多摩		3	20	71	4			3			3
多摩立川	2	2	34	80	1			2			9
多摩府中	1		29	137	3		10	5	1		8
多摩小平	4	13	59	114	3			13			4
島しょ											1
東京都合計	38	57	517	1,781	70	18	37	107	2	1	66

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			64								7
中央区	1	2	149		1						
みなと			289								3
新宿区			212		2						1
文京			244								1
台東			166								
墨田区		1	222					3			1
江東区			373								
品川区			172								
目黒区			156								
大田区		2	477		5						
世田谷			668					2			6
渋谷区			112		1						4
中野区			343								
杉並			423		2						2
池袋			188					2			
北区			267								
荒川区			311		1						
板橋区		2	351		1					1	2
練馬区		2	589		2						
足立		1	567		1						
葛飾区	1		456					1			9
江戸川			505		1						
八王子市		2	635								10
町田市			472								
西多摩	1		418					1			
南多摩			443								
多摩立川			575		1						1
多摩府中	1	2	1073					1		1	11
多摩小平			849		1						11
島しょ			92								1
東京都合計	4	14	11,861		19			10		2	70

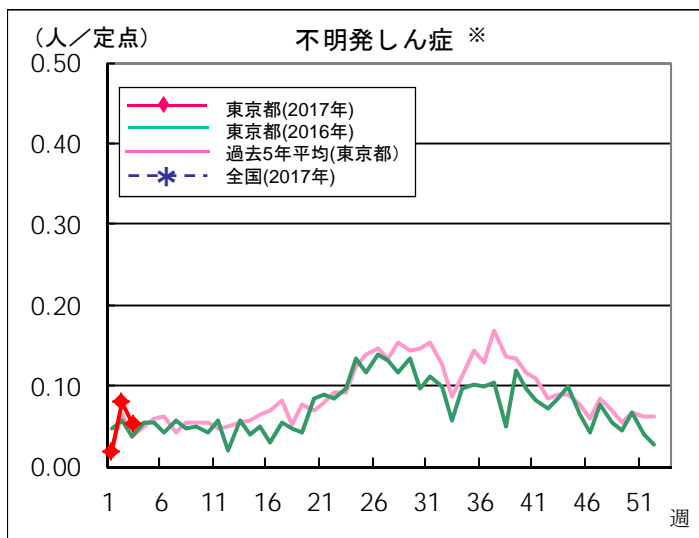
# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2017年3週 現在)

## ◆ 小児科定点



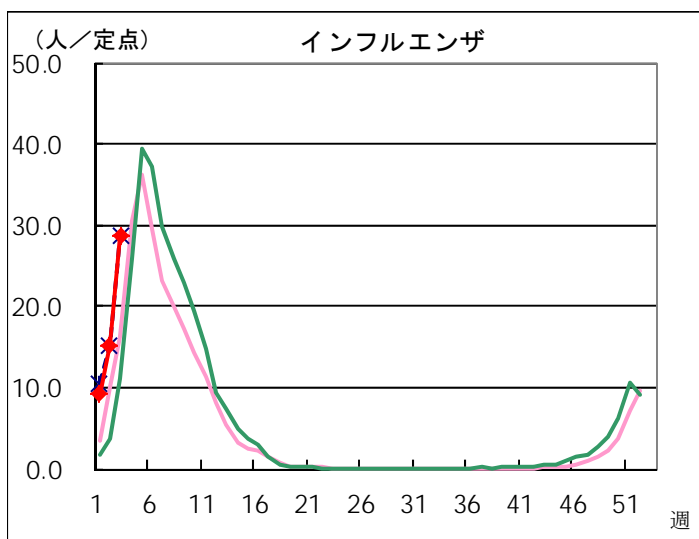


※ 東京都独自対象疾患

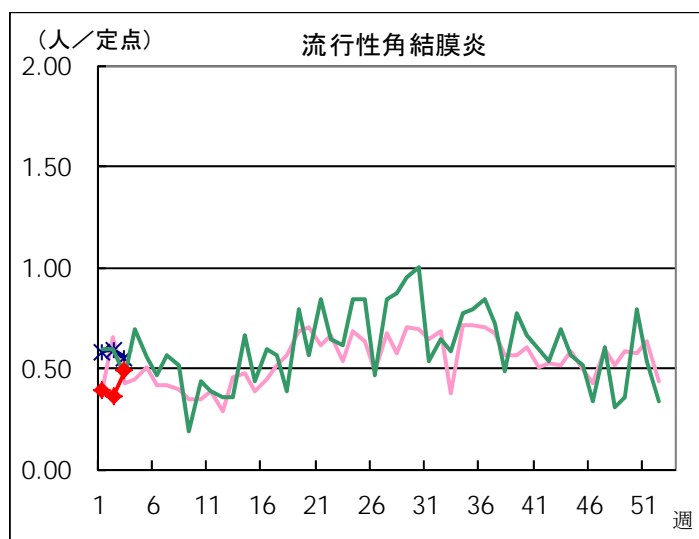
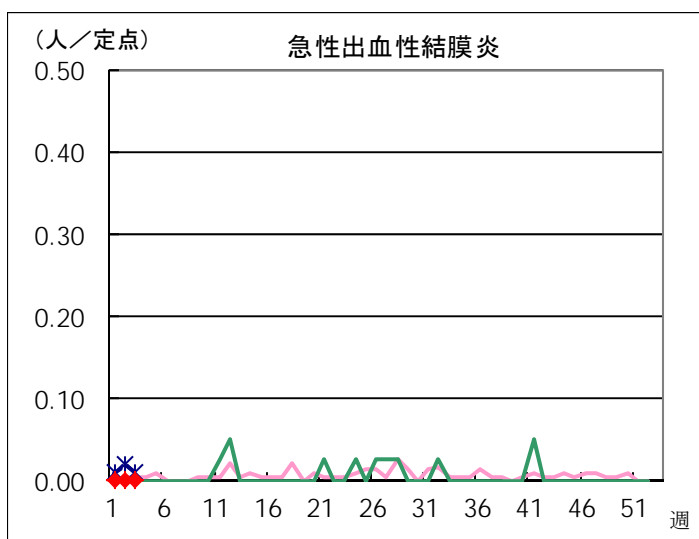


※ 東京都独自対象疾患

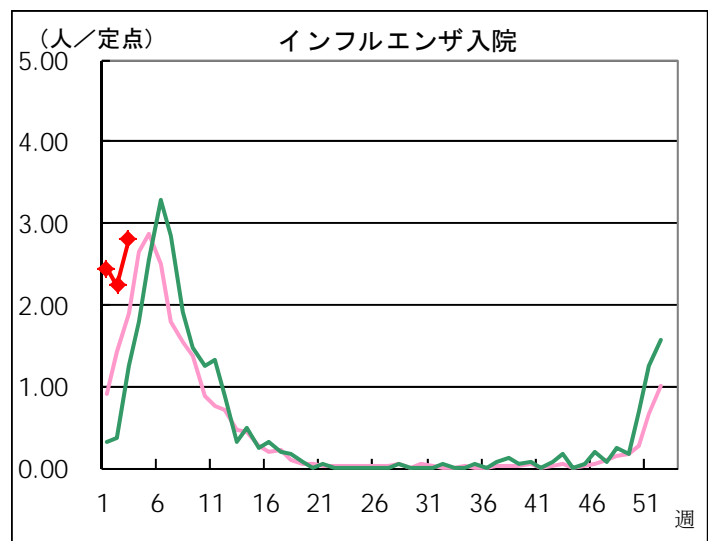
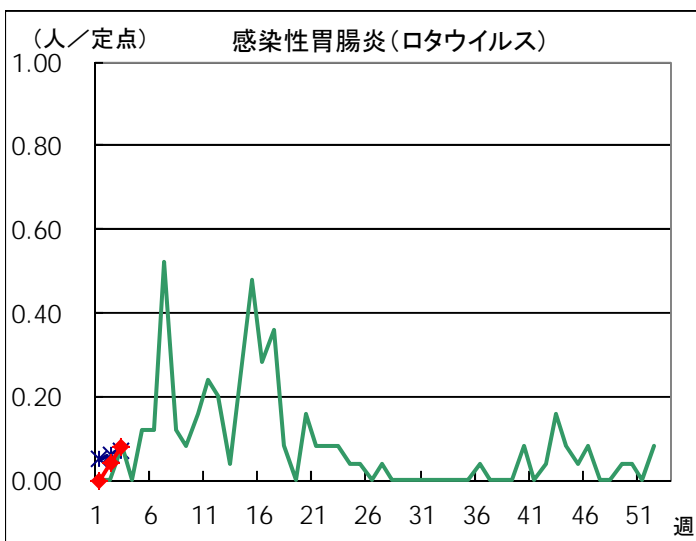
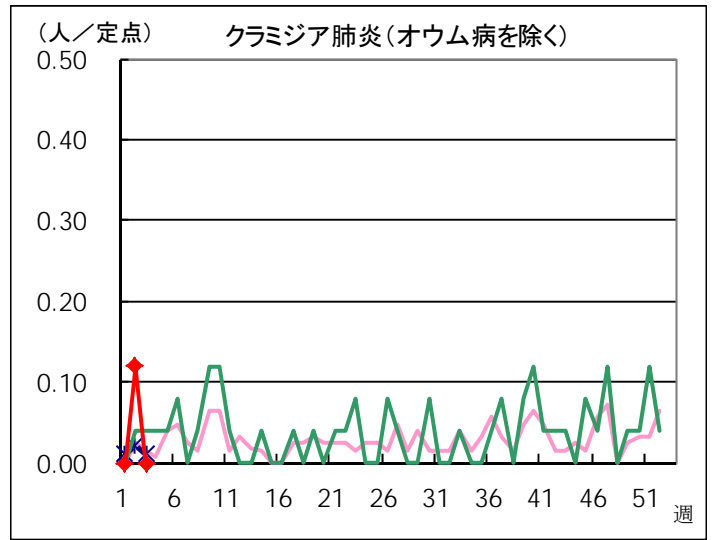
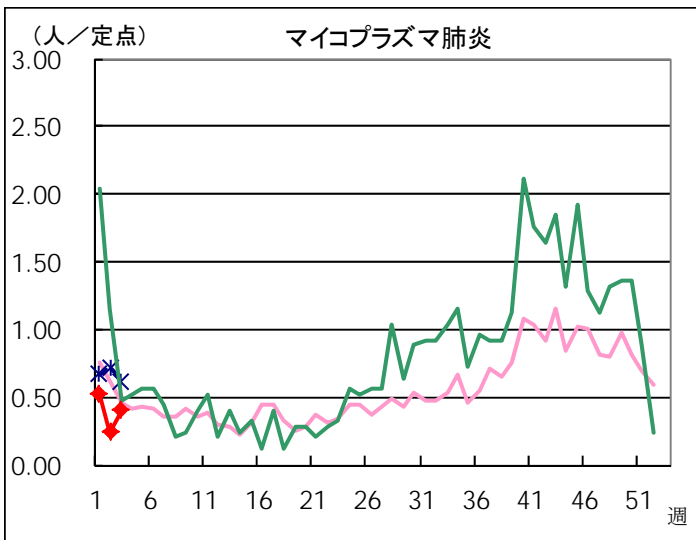
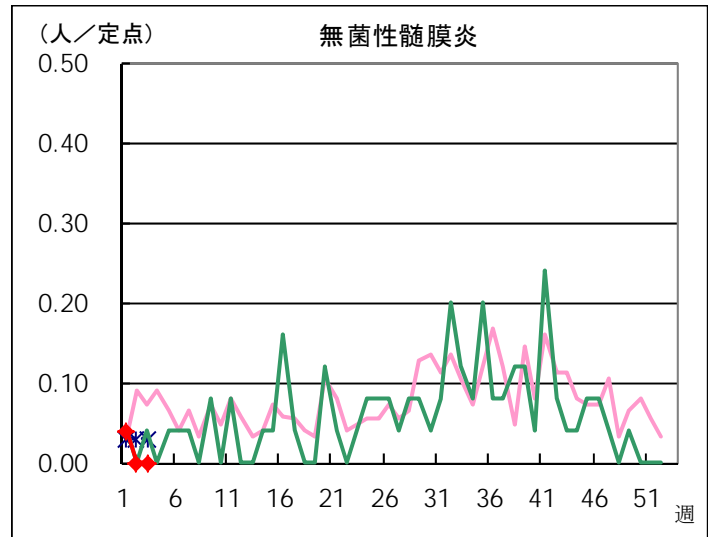
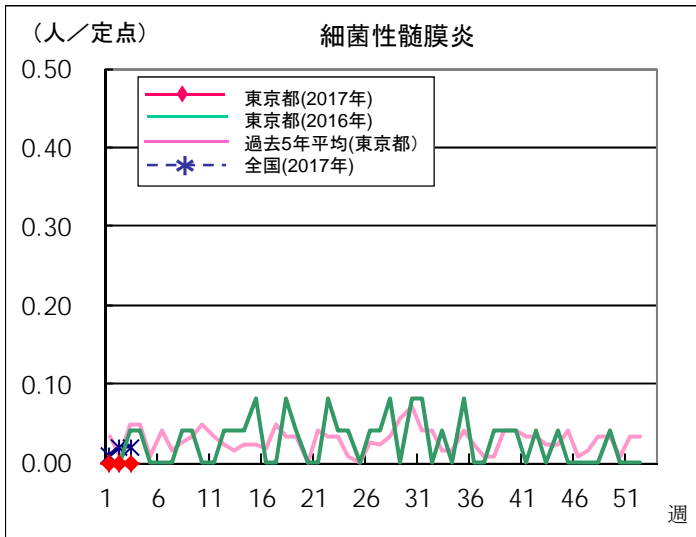
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
12/21	インフルエンザ	1	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型※ ライノウイルス
12/22	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型
12/22	感染性胃腸炎	4M	便	ノロウイルスGⅡ A群ロタウイルス
12/26	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	アデノウイルス
12/26	感染性胃腸炎	1	直腸拭い液	A群ロタウイルス
12/26	水痘	4	皮膚病巣	水痘・帯状疱疹ウイルス
12/29	感染性胃腸炎	2	便	ノロウイルスGⅡ

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2017年1週			14	2
2016-2017年 シーズン累計*	4		99	3

\* 2016-2017年シーズンの開始は第36週(2016年9月5日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2016年							2017年
	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	01週
アデノウイルス	1		2	2	4	1	3	1
コクサッキーウイルスA群	1	3	1	2				
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス				1				
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス				1	2		1	
ライノウイルス				2		1		1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス	2			1				1
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1			1	1			
EBウイルス	1	1				1		
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス	1	1	3		1	1		
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19					1			
RSウイルス						1		
ノロウイルス	2	1	2	2	2	2		2
ロタウイルス								2
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	5	5	9	10	16	16	12	14
インフルエンザウイルスB型						1		2
インフルエンザウイルスAH1pdm09		1		1	1			
その他のウイルス					1			
A群溶血性レンサ球菌T-1型		1						1
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型	1			1				
A群溶血性レンサ球菌T-12型	1	1	1					
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	1							
A群溶血性レンサ球菌その他のT型					1			
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2016年46週～2017年01週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	3	9	9	18	6	9	2	3	3		10		9	94	16		7	2	4	1	
アデノウイルス		6												4	1		3				
コクサッキーウイルスA群						7															
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																			1		
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス														3	1						
ライノウイルス														3	1						
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					4																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								1					2								
EBウイルス											3										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス												7									
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風疹ウイルス																					
ヒトパルボウイルスB19							1														
RSウイルス	1																				
ノロウイルス				13																	
ロタウイルス				2																	
サボウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型														86	1						
インフルエンザウイルスB型														2	1						
インフルエンザウイルスAH1pdm09														3							
その他のウイルス																				1	
A群溶血性レンサ球菌T-1型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			3																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

## <感染症豆知識>

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症は、メロペネムなどのカルバペネム系薬剤および広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌（CRE）による感染症で、2014年9月19日に感染症法に基づく感染症発生動向調査の五類全数把握疾患に追加された。診断した医師は7日以内に届け出なければならない。

主に感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに感染症を起こす。健常者に感染症を起こすこともある。肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や軟部組織の感染症、医療器具関連血流感染症、敗血症、髄膜炎その他多様な感染症を起こし、しばしば院内感染の原因となる。届出の対象となるのは、分離された菌が感染症の起原菌と判定された場合である。

2015年1～12月の届出患者は1,669例（2016年1月8日現在暫定数）で、うち届出時点の死亡例は59例であった。男性が62%で女性より多く、65歳以上が78%であった。都道府県別では東京都が最も多く241例、次いで大阪府184例、福岡県124例であった。報告された症状は尿路感染症33%、菌血症・敗血症24%、肺炎23%の順に多かった（WEB版IASR 2016年9月6日掲載記事参照）。

CREは無症状で腸管等に保菌されることも多い。感染症を発症していない保菌者については届出の対象ではないが、入院患者の場合は院内感染対策上の注意が必要で、院内でアウトブレイクが疑われる場合は、必要に応じて保健所に連絡・相談することが望ましい。

（文責 国立感染症研究所感染症疫学センター客員研究員 山下和予）